

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月15日

事業所名 児童発達支援センター 通園めだか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	19		・トイレやトイレ前、洗面所スペースは、時間差で使用するなど、その空間での適切な人数を意識して使用しています。	
	②	職員の配置数は適切である	18	1	・日々の保育の中で情報共有をすることで、どの職員でもサポートができるようにしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	18	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	1	・活動に合わせて部屋の使い方や遊具の設定を工夫し、子ども達がわかりやすく動けるように環境を整えています。	・今使用しない物が出ていたり、ごみが落ちていたりするので、清潔は常に心がけたいです。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	16			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16		・適時アンケートを取る等して意向確認を行い、業務改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業	14	1		・ホームページ内で公表しています。職員に向けて周知していきます。

	所の会報やホームページ等で公開している				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	6		・第三者による外部評価は受けていません。今年度に関しては、三重県の実地指導を受け、業務内容について確認して頂いています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	2	・発達の学習会など、短時間勤務の職員にも学べる機会を作り、知識の広がりにつなげています。	・研修の機会は少ないように思います。 →新型コロナウイルスの影響により、オンラインの実施で参加しやすくなった研修もあります。学びたい職員へ、研修の周知を行い学びの機会を増やしたいと思います。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	16		・保護者の方と面談し、ニーズや課題の把握に努めています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15			
	⑫ 個別支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」などの子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14			・個別支援計画の作成に関わっていないので、今後質問していきたいです。 →現場保育士以外の職員にも周知するよう努めていきます。
	⑬ 個別支援計画に沿った支援が行われている	16			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	15		・各グループ、活動によって事前に打ち合わせを行っています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16		・毎月の月案の中で子ども達に応じた活動を工夫しています。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成している	16	1	・個人の課題と集団での課題を意識しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	18		・朝礼時にその日の支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15	1	・朝礼時に前日の反省点等を報告し、職員間で気付いた点等を共有しています。 ・昼礼と終礼も実施し、職員間の情報共有に努めています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	16			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	15		・定期的にモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15			・担当者会議が招集された場合には参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15		・各市町の保健師、地域の保育所等との連携があります。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	14			

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15		・申し送りが行われています。	
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16		・申し送りが行われています。	
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14		・三重県障害児通園施設等連絡協議会に参加し研修や情報共有をしています。関係機関との連携や協議会主催の研修にも参加しています。	
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	6		・わんぱく教室で地域の子との交流はありますが、コロナの影響で中止になることもあります。
	②⑨ 自立支援協議会の発達支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	1	・自立支援協議会、発達支援部会に参加しています。	
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	2	・送迎時や毎日の連絡ノートで子どもの様子を伝え合っています。	
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（親子保育や保護者学習会等）の支援を行っている	16		・新型コロナウイルスの影響で実施回数が少なくなったりもしますが、可能な限り親子保育や保護者学習会を開催しています。	
保 護	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16		・運営規定（重要事項説明書）・利用者負担について、丁寧に説明を行っています。	

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画について保護者からの同意を得ています。</li> </ul>	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に話を聞いたり、必要に応じて面談の時間をとっています。</li> <li>・保護者の方が相談したい時に相談ができる環境を心がけています。</li> </ul>	
	③⑤	親子保育や保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17			
	③⑥	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	16			
	③⑦	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の行事予定等のおたよりや各行事等、必要に応じておたよりを出し周知を図っています。</li> </ul>	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	17			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策もあり、地域交流が難しい状況です。</li> </ul>	
非 常 時 等 の	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の予定に組み入れられています。</li> </ul>	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な場面を想定して月一回訓練を実施しています。</li> </ul>	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	16	1	・保護者の方と連絡を取り 随時確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	16		・アレルギー対象の食物除去にて対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18		・ヒヤリハットは記録して職員間で情報共有し、改善について検討しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17		・年一回法人全体での虐待防止研修を実施しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	16		・身体拘束の必要性が発生した時には、職員会議の中で検証した上で、保護者に説明し了解を得ています。 ・また、身体拘束を行った場合には、記録を取り、身体拘束廃止委員会で緊急やむを得ない事案に当たるかどうか話し合うなど、事業所内だけでなく、法人全体で対応を行うようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。